

伯耆町の1年間を振り返る

# 2021年 まちのわだい まどめ

今年もいろいろなことがありました。その中から、注目の話題を厳選してご紹介します。

特集

PICK UP

## 1月 森安町政 第4期スタート

任期満了に伴う伯耆町長選が1月19日に告示され、現職で無所属の森安保氏のほかに立候補の届け出がなく、森安氏が無投票で4期連続の当選を果たしました。



## 3月 換気機能を備えたマイクロバス導入

新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、国の交付金で購入した高性能の換気機能付き小型バスが3月8日（月）、納車されました。

このバスで室内の密閉状態の防止、乗客の分散化が可能になり、感染リスクを減らすことができます。住民団体等の研修や通学用バスとして活用する予定です。



## 3～4月 コロナ対策のための寄附をいただきました

昨年に引き続き、事業者様から、新型コロナウイルス感染症対策へ活用してほしいと、支援物資・寄附金をいただきました。

改めまして、皆様からの温かいご支援に心より御礼申し上げます。

寄附者名称（※順不同）

- ・株式会社マエコーエンタプライズ様
- ・美保テクノス株式会社様
- ・株式会社T・M・S様
- ・ネットトヨタ鳥取株式会社様

## 4月 新町議14人が決定

任期満了に伴う伯耆町議会議員選挙は、定数14人に対し16人が立候補し、12年ぶりの選挙戦となりました。現職11人、新人3人が当選し、新しい顔ぶれが決まりました。



## 5月 コロナワクチン集団接種 本格始動

新型コロナウイルスワクチンの集団接種が、ゴールデンウィーク明けの5月8日から始まり、9月30日まで週3回のペースで続け、12歳以上の2回接種完了者は74.8%となりました（9月13日時点）。



## 5月 東京2020オリンピック聖火リレー

コロナで1年遅れとなった東京2020オリンピック聖火リレーに、伯耆町から稲垣杏奈さんと奥田晃代さんがランナーとして参加しました。

3月25日に福島県をスタートした聖火は、5月21日に鳥取県に到着。2日間かけ、約170人のランナーが県内で聖火をつなぎました。



## 5月 上細見地区 日野川右岸の堤防完成

令和元年7月から国土交通省が工事を進めていた上細見地区の日野川右岸堤防が、5月末に完成しました。これにより、長年の懸案だった当地区の治水対策が大きく前進しました。



## 10月 復興願い10年 東北支援米 最後の稲刈り

八郷小学校では、東日本大震災（2011年）の被災者支援のために、「東北支援米」を作り、被災地の学校や福祉施設に送っています。今年が活動10年目で最後の年。東北を支援する会・谷口輝雄会長や学校支援ボランティアとともに、児童たちが稲刈りを行いました。



## 10月 コロナ禍の成人式

参加者を県内在住者と式の2週間前から来県している人に限定するなど感染対策を徹底し、10月10日に令和3年度成人式を開催しました。新成人104人のうち24人が来場し、旧友との再会を喜びました。



## 2022年は寅年 干支は壬寅

みずのえ  
「壬」の文字の意味は、厳冬を耐えて内に蓄えた陽気で次代の礎となること。  
「寅」は、豊穡を助けるミミズが土の中で動き、芽吹きが始まった状態。  
2022年は、生命力に溢れ、華々しく生まれる年になるようです。

過去の寅年の出来事

- 1962年(昭和37年) 東京タワー完成
- 1974年(昭和49年) 佐藤栄作がノーベル平和賞受賞
- 1986年(昭和61年) ダイアナ妃来日  
世界初レンズ付きフィルムカメラ「写ルンです」発売
- 1998年(平成10年) 長野オリンピック開催  
FIFAワールドカップに日本が初出場
- 2010年(平成22年) 惑星探査機「はやぶさ」が帰還

出典 (1) 2022年の干支「壬寅」はどんな年になる？ 循環する暦、420年前の日本に見つけた希望  
([https://www.homes.co.jp/cont/press/reform/reform\\_01094/](https://www.homes.co.jp/cont/press/reform/reform_01094/))  
(2) 2022年・寅年はどんな年？特徴や性格・出来事までわかる豆知識  
(<https://nenga.templatebank.com/column/035/>)

2022年が、町民皆様にとって

幸多き1年となりますよう心よりお祈り申し上げます



問い合わせ先 企画課 町づくり推進室 TEL 0859-68-3113